

令和2年度避難者アンケート調査の結果について【概要】

1 調査目的・対象等

- (1) 調査目的：避難者のニーズ等を把握し、今後の避難者支援策に資することを目的として実施したもの
- (2) 調査対象：東日本大震災により山形県内に避難されている547世帯
- (3) 調査期間：令和2年7月上旬～7月下旬 調査方法：郵送によるアンケート調査
- (4) 回答数：153世帯 回収率：28.0%

2 調査結果のポイント

(1) 世帯状況について

- ・「子供がいる世帯」は55.5%、「母子のみ避難」は21.6%、「高齢者がいる世帯」は33.3%となっている。

(2) 山形での生活について

- ・困っていること・不安なことは、「生活資金のこと」が52.3%で最多、「身体の健康」が51.6%、「心の健康」が39.2%の順。
- ・新型コロナによる影響は、「休校のため勉強の遅れが心配」が36.6%、「移動自粛により避難元にいる家族との時間が減った」が33.3%、「勤務先の状況により収入が減少した」が21.6%の順。

(3) 今後の生活について

- ・「山形県に定住したい」が37.3%、「もうしばらく山形県で生活したい」が34.6%で、約7割の方が山形県に留まりたい意向。
- ・避難期間の見通しとしては、「子供が独立するまで」が23.5%で最多。

(4) 心身の健康について

- ・約6割の方が心身に何らかの不調を抱えている。「疲れやすく体がだるい」が35.3%で最多。「よく寝れない」が22.9%、「憂うつで気分が沈みがち」が21.6%の順。「特にない」34.6%との回答も多い。

(5) 教育や子育てについて

- ・困っていること・不安なことは、「子供の進学や進路が心配」が56.5%で最多。
- ・子供がいる世帯の方が望むことは、「進学や進路についてアドバイスや情報がほしい」が38.8%で最多。「子育てに役立つ情報がほしい」が24.7%と続く。「特にない」31.8%との回答も多い。

(6) 高齢者の生活について

- ・困っていること・不安なことは、「健康に関すること」が39.2%で最多。
- ・高齢者がいる世帯の方が望むことは、「生活に役立つ情報がほしい」が25.5%で最多。「健康に関する情報がほしい」が13.7%と続く。「特にない」37.3%との回答も多い。

(7) 県内避難者支援事業について

- ・県、市町村、ボランティア団体等による避難者支援は、7割が評価。
- ・今後、県内で期待する支援は、「生活情報の提供の充実」と「住宅に関すること」が28.1%で最多。